



平成30年度国文学研究資料館

「古典の日」講演会

平成30年11月3日(土・祝)

13:30~16:00(開場:12:30)

聴講無料

※要事前申込

会場 | イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1)

講演内容

1 『源氏供養と石山寺』

小林 健二(国文学研究資料館 副館長・教授)

2 『藤原道長「望月の歌」詠歌から千年 和歌に詠まれた真の意味』

山本 淳子(京都学園大学 人文学部 教授)

主催 | 国文学研究資料館

「古典の日」講演会

「古典の日」は、古典が我が国の文化において重要な位置を占め、優れた価値を有していることに鑑み、国民が広く古典に親しむことを目的として、平成24年3月に法制化されました。11月1日は、我が国の代表的な古典作品である『源氏物語』の成立に関して、最も古い日時が寛弘五年(1008)11月1日であることから、この日に定められました。日本古典文学の文献資料収集と研究を主事業とする国文学研究資料館も、「古典の日」の趣旨に賛同し、平成24年度から記念の講演会を催しております。古典に親しむ絶好の機会として、大勢の方にお出でいただくことを願っております。

講師紹介

小林 健二

国文学研究資料館副館長・教授、総合研究大学院大学教授。専攻は室町期の文芸(能・狂言、幸若舞曲、物語草子など)、著書は『中世劇文学の研究—能と幸若舞曲』『沼名前神社事能の研究』など。

山本 淳子

京都学園大学人文学部教授。『源氏物語』『枕草子』などを生んだ一条天皇の時代を文学と歴史をまたく新たな視点で分析している。2007年、一般書としては初の著書『源氏物語の時代—一条天皇と后たちのものがたり』でサントリー学芸賞受賞。

申込方法

■ 事前申込：定員450名(先着順) ■ 申込締切日：平成30年10月5日(金)必着

往復ハガキまたはE-mailに①氏名(フリガナ)②郵便番号③住所④電話番号をご記入のうえ、期日までにお申し込みください。なお、お申し込みは、お一人様1回限りとさせていただきます。また、同時に複数名でのお申し込みは受け付けられませんので、ご了承ください。

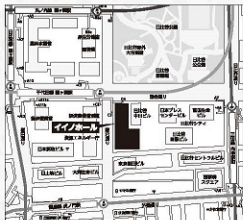
ハガキの場合(往復ハガキにてお送りください。)

宛先：〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
宛名：国文学研究資料館「古典の日」講演会係

E-mailの場合

宛先：event@nijl.ac.jp
件名：平成30年度「古典の日」講演会(申込者氏名)

※当講座には10月下旬頃までに受講票をお送りします(ハガキまたはメール)。 ※この申し込みを通じて得た個人情報類は、連絡業務のみに使用させていただきます。
※自然災害等により交通機関等への影響が予想される場合は、講演会を中止することがあります。



交通案内

イイノホール(東京都千代田区内幸町2-1-1)

- 東京メトロ 日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- 東京メトロ 丸の内線 「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線 「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 東京メトロ 有楽町線 「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分
- JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄 浅草線、ゆりかもめ 「新橋」駅 徒歩10分
- 都営地下鉄 三田線 「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分

